

千代田化工建設と横浜国立大学が包括連携協定を締結

2022年 5月 30日
千代田化工建設株式会社
国立大学法人横浜国立大学

千代田化工建設株式会社(本社:横浜市西区、代表取締役会長兼社長 榊田 雅和 以下:千代田化工建設)と 国立大学法人横浜国立大学(横浜市保土ヶ谷区、学長 梅原 出 以下:横浜国立大学)は、産業の発展に繋がる研究開発や人材育成などによる社会への貢献を目指し、2022年5月30日(月)に、包括連携協定を締結いたしました。

両者は、かねてより水素エネルギー関連技術の開発やプラント安全技術分野の研究において協働して参りましたが、今後は連携関係をより一層強化し、社会や産業にかかる課題の発掘及びその解決に資する研究開発や知見の共有を行い、社会実装や人材育成を通じ社会に貢献してまいります。

■本協定における連携事項

- (1) 社会や産業が求める課題の検討、共同研究テーマの選定
- (2) 社会実装に向けた各種検討
- (3) 本連携に資する人材交流や意見交換会の実施
- (4) 人材育成に向けた協力
- (5) その他本目的に資すると認められる事項



梅原学長と榊田会長兼社長



出席者全員での記念撮影

■主な活動内容について

千代田化工建設では、「エネルギーと環境の調和」を経営理念とし、世界に先駆けた様々な技術開発を手がけ、近年では、独自技術である SPERA 水素[®]をコアテクノロジーとしてカーボンニュートラルの実現に取り組んでいます。一方の横浜国立大学では、先端科学高等研究院(IAS)に設立された「先進化学エネルギー研究センター」において電気化学を基軸とした化学エネルギー関連の新たな研究を進めています。

本協定を締結することにより、これまでの両者での取り組みによりシナジーを生み出してきた水素エネルギーにかかる技術開発や、燃料電池にかかる技術開発と特性評価などの共同研究を継続しつつ、持

持続可能な社会の実現に向け、双方の強みを生かし得る新規課題の掘り起こしならびに共同研究テーマの選定を行い社会実装を目指すとともに、人材交流や意見交換会を定例化し、人材育成に向けた相互協力を継続することで社会への貢献を目指します。

【千代田化工建設株式会社】

千代田化工建設は、1948年に設立された総合エンジニアリング企業で、石油・ガスといったエネルギーから、化学、環境、省エネ、産業設備、ライフサイエンスまで幅広い分野においてサービスを提供できることを強みとしています。横浜市西区みなとみらいに本社を置き、連結従業員数は5,200名、60を超える国々において数々のプロジェクトを展開し、経営理念である「エネルギーと環境の調和」を通して、持続可能な社会の発展への貢献を目指しています。

URL: <https://www.chiyodacorp.com/jp/>

【横浜国立大学(YNU)】

横浜国立大学は、四つの旧制学校を母体に1949年に新制大学として設立した総合大学で、横浜市保土ヶ谷区常盤台のワンキャンパスに5学部・6大学院を有しています。「実践性」「先進性」「開放性」「国際性」を建学からの歴史の中で培われた精神として掲げ、世界の学術研究と教育に重要な地歩を築くべく、努力を重ねることを憲章として宣言しています。

URL: <https://www.ynu.ac.jp/>

この件に関するお問い合わせ先

千代田化工建設(株) IR・広報・サステナビリティ推進セクション 池尻・矢野

Email: irpr@chiyodacorp.com

URL: <https://www.chiyodacorp.com/jp/contact/index.php>

横浜国立大学 産学・地域連携課 潮 正章

TEL: 045-339-3073